

## 編集後記

本号では、昨年11月に開催された第7回横幹連合コンファレンスにおけるオーガナイズ・セッション、「災害から真に強靱な社会とは? - 防災学術連携体に参加して -」を発展させて、「人間・社会を基盤とする防災・減災への学術連携に向けて」という特集を組みました。米田雅子氏には、防災学術連携体事務局長のお立場で、学問分野横断的な取り組みの必要性和横幹連合への期待を述べていただきました。吉原直樹氏は、防災や復興に対する学術連携のあり方を述べていただきました。出口光一郎氏は、国土の強靱化のための「ソフト対策」と「ハード対策」の適切な協調の必要性を述べていらっしゃいます。そして、遠藤薫氏には社会関係資本の観点、山本佳世子氏には計画科学の立場からの災害対策評価、三浦一彦氏には復興のまちづくりに行政の立場で参画されたご経験、出口光一郎氏にはコンピュータビジョンや3DCGの手法応用、廣井悠氏・齊藤健太氏は疎開シミュレーションのご提案と実装、佐藤彰洋氏は統計データを活用した災害リスク評価、有馬昌宏氏にはハザードマップや防災アプリの動向とこれらを持つ課題解決策の実装例としての「ハザードチェッ

カー」のご紹介のように、横幹ならではの広範な学問領域における、防災・減災・復興に対する貴重な取り組み事例をご紹介します。椿美智子会誌編集委員長が巻頭言で記載していらっしゃる、「防災・減災に関するハード対策とソフト対策の効果的な組み合わせ実現のためには、広い分野の知を結集して、学術連携を深め、方策を確立することが必要」という観点で、読者の皆様への情報提供の一助となれば幸いです。ご多用の中、貴重な玉稿の寄稿を賜りました著者の皆様方へ感謝申し上げます。

そして、本号では、三好きよみ氏、木野泰伸氏の原著論文「プロジェクトマネージャーの能力向上を促進する要因 - キャリア発達段階による比較 -」を掲載させていただくことができました。プロジェクトマネージャーには、分野横断的な問題解決能力が要求されることを結論付けていらっしゃいます。このような人材育成について、今後横幹連合においても検討すべき課題と考えます。

最後に、「横幹」では多数の原著論文の投稿をお待ちしています。

会誌編集副委員長 横山清子

### 【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

#### □ 2017年度役員

会長	鈴木 久敏（情報・システム研究機構）		
副会長	船橋 誠壽（元・北陸先端科学技術大学院大学）	本多 敏（慶應義塾大学）	
理事	浅間 一（東京大学）	遠藤 薫（学習院大学）	
	大倉 典子（芝浦工業大学）	大塚 敏之（京都大学）	
	鎌倉 稔成（中央大学）	木村 忠正（電気通信大学）	
	小平 和一朗（アーネスト育成財団）	末岡 徹（(株)地圏環境テクノロジー）	
	田中 覚（立命館大学）	田名部 元成（横浜国立大学）	
	椿 美智子（電気通信大学）	出口 光一郎（東北大学）	
	仲田 隆一（元・(株)東芝）	中西 寛子（成蹊大学）	
	保坂 寛（東京大学）	三上 喜貴（長岡技術科学大学）	
	皆川 健多郎（大阪工業大学）	村上 存（東京大学）	
	横山 清子（名古屋市立大学）	六川 修一（東京大学）	
監事	北川 源四郎（東京大学）	庄司 裕子（中央大学）	

#### □ 2017年度会誌編集委員会

委員長	椿 美智子（電気通信大学）		
副委員長	横山 清子（名古屋市立大学）		
委員	青柳 秀紀（筑波大学）	穴太 克則（芝浦工業大学）	
	大塚 敏之（京都大学）	金子 勝一（山梨学院大学）	
	小平 和一朗（アーネスト育成財団）	玉置 久（神戸大学）	
	出口 光一郎（東北大学）	藤井 享（(株)日立製作所）	
	松岡 猛（宇都宮大学）	水野 毅（埼玉大学）	
	三宅 美博（東京工業大学）		